



### ライオンの赤ちゃん、桜…そして新施設

いまだ余震も止まず不安定な日々が続きますが、あれから1カ月。動物園も無料期間を終え震災前の状態に戻りつつあります。この1カ月は本当に色々な事があつという間に時間が経ってしまった気がします。震災とそれに続く復旧活動、市としての避難者支援や給水活動、各園館からの支援の輪、開園と無料開放、などなどめぐるしい毎日でした。そんな中でもおめでたい話題があり、メスのライオン、バルミーに赤ちゃんが3頭生まれました。震災から5日後の休園中のことでした。



開園前：長蛇の列



きぼうくん

バルミーは2度目の出産でしたが、震災後被災者が元気になってもらおうと「きぼう（オス）」「ゆめ（メス）」「はる（メス）」と名付けました。今回は命のぬくもりを感じてもらおうとお客様に抱っこしてもらおうことを企画しました。ただし、人数制限したうえ土曜日、日曜日だけ、それも1日2回の時間限定。その間だけ「ごめんなさいっ」とお母さんから離し、終われば速効で戻す、というやり方をとりました。これを3週間だけやりましたが…無料期間も重なり土曜日、日曜日は猛烈な人で賑わいました。開園前には整理券を求める人で長蛇の列。早い人は朝6時から並び始めるなどパンダ並み。やっとそうしたイベントも先の日曜日で終わり、担当飼育員ともども正直ホッとしています。



はいポーズ



うまく抱っこできるかな

そんなこんなしてるといつの間にか桜も満開、そして震災で延びていた新施設「サルの楽園」もやっと16日にオープンすることができました。リスザルなどケージのないオープン展示のため保安員を配しての恐る恐るのスタートでした。結果から言うと今のところ大正解で

した。リスザルの島はまわりが池になっており島から外へは出ようとはしません。それでもお客さんとの距離も近く子どもたちは大喜び。マンドリルやブラッサグエノンもうまく空中回廊を行き来します。1か所両者が交差する箇所があるのですが、その時はブラッサグが逃げていきます。

このほか、始めて展示するフサオマキザルやスローロリス、ワタボウシパンシェも大人気でした。クモザルだけはまだ出してないのでつり橋を渡る姿がどうなるか心配ではあるのですが。リスザルの島がまわりが池のため、ゆったりとした雰囲気を出していると思うのですがいかがでしょう。（ただ空中回廊周辺がゴチャゴチャしてる感じにはなっていますが。）



サルの楽園内リスザルの島



目の前にリスザルが

季節はそういうわけで桜も咲きいつしか春真っ盛りへ、そしていよいよゴールデンウィーク突入です。世の中自粛ムードが漂っていますが、震災で被災した動物園もうちを含め震災前の状態に戻そうと懸命に努力しています。そうした園を盛り立てていくためにもどうぞお近くの動物園・水族館へお運びください。



新婚さんがやってきました…桜とゾウをバックに

(平成23年4月18日)

2011年4月19日

過去の一覧

[令和6年](#)